すこやかニュース

第38号

－発　行－
2015年5月
－編　集－
野上病院
院内新聞委員
泉南市樽井1-2-5
TEL　072-484-0007

泌尿器科医療の新たな出発にあたって

副院長兼泌尿器科部長　上門康成

この４月１日から野上病院泌尿器科で常勤医として勤めることになりました。個人的には平成17年4月から土曜日の外来を2週間に1回担当させて頂いており、その当時から常勤医での勤務を強く請い求められていました。諸般の事情でなかなか実現することができませんでしたが、ようやくこの春になって実現の運びとなりました。また5月からは常勤医２人体制となります。

ご承知のように泌尿器科学は副腎、腎、膀胱、前立腺や男性生殖器を対象とした医学の領域であり、このなかで扱う疾患は実に多岐にわたっています。また赤ちゃんからご高齢の方々まで、男女を問わずあらゆる年齢層を対象としているのも特徴といえるでしょう。高齢社会に突入している日本では前立腺癌をはじめ泌尿器科疾患が急増しており、泌尿器科医療のニーズがますます高まっていると思います。

泌尿器科医療の中で大きな変革の契機となった治療は、体外から衝撃波をあて結石を砕く手術法（体外衝撃波腎・尿管結石破砕術、ESWL）である思います。この方法はそれまで身体にメスをいれて取り除いていた結石治療を一変させてしまいました。以来今日まで泌尿器科領域では新しい技術が率先して応用されてきました。このように泌尿器科学は常に外科領域で先陣を切って革新的なアプローチが取り入れられてきた診療科といえます。

この度、野上病院で泌尿器科医療を担当させて頂く医師として、変革にチャレンジする精神を受け継ぎ、身体に優しく、皆様のニーズに応えられる医療をモットーに診療させて頂きます。

新入職者紹介　よろしくお願いします！